

## 今夏の電力需給状況について

平成 25 年 9 月 21 日  
関 西 広 域 連 合

平成 25 年夏の関西電力管内の電力需給状況は以下のとおり。

**1 今夏の電力需給状況について（7月～8月）**

- 関西電力のデータによると、最大需要は、8月22日14時台の2,816万kWで、同日の最大供給力2,931万kWに対し、使用率は96%となった。
- 同日は、気温が高かったことによる需要の増加や、舞鶴発電所1号機（火力、90万kW）のトラブルによる停止等があったが、関西電力は、卸電力取引所からの調達や他電力会社からの融通などにより対応した。  
(8月29日の関西広域連合委員会で報告済み)

**2 大飯原発停止以降の電力需給状況について（～9月18日）**

- 大飯原発3号機停止（9月2日）後における最大需要は、9月13日14時台の2,486万kWで、同日の最大供給力2,586万kWに対し、使用率は96%であった。  
9月上旬は日最高気温が30℃を下回る日が多く、9日以降は30℃を超える日が続いた。
- 大飯原発4号機停止（9月15日）後における電力需給は、使用率が90%未満と、安定して推移している。  
15日以降は日最高気温が30℃を下回る日が多かった。
- ※ 4月の電力需給見通しでは見込んでいなかった姫路第二発電所1、2号機（火力発電、1号機：営業運転開始、2号機：試運転中、各48.65万kW）が供給力として追加

**3 今夏の節電実績**

- 今夏のこれまでの“節電”の状況を、日々の14時台の需要と気温の関係から解析すると、平成22年と比べて平均で約10%（約260万kW）減少している。

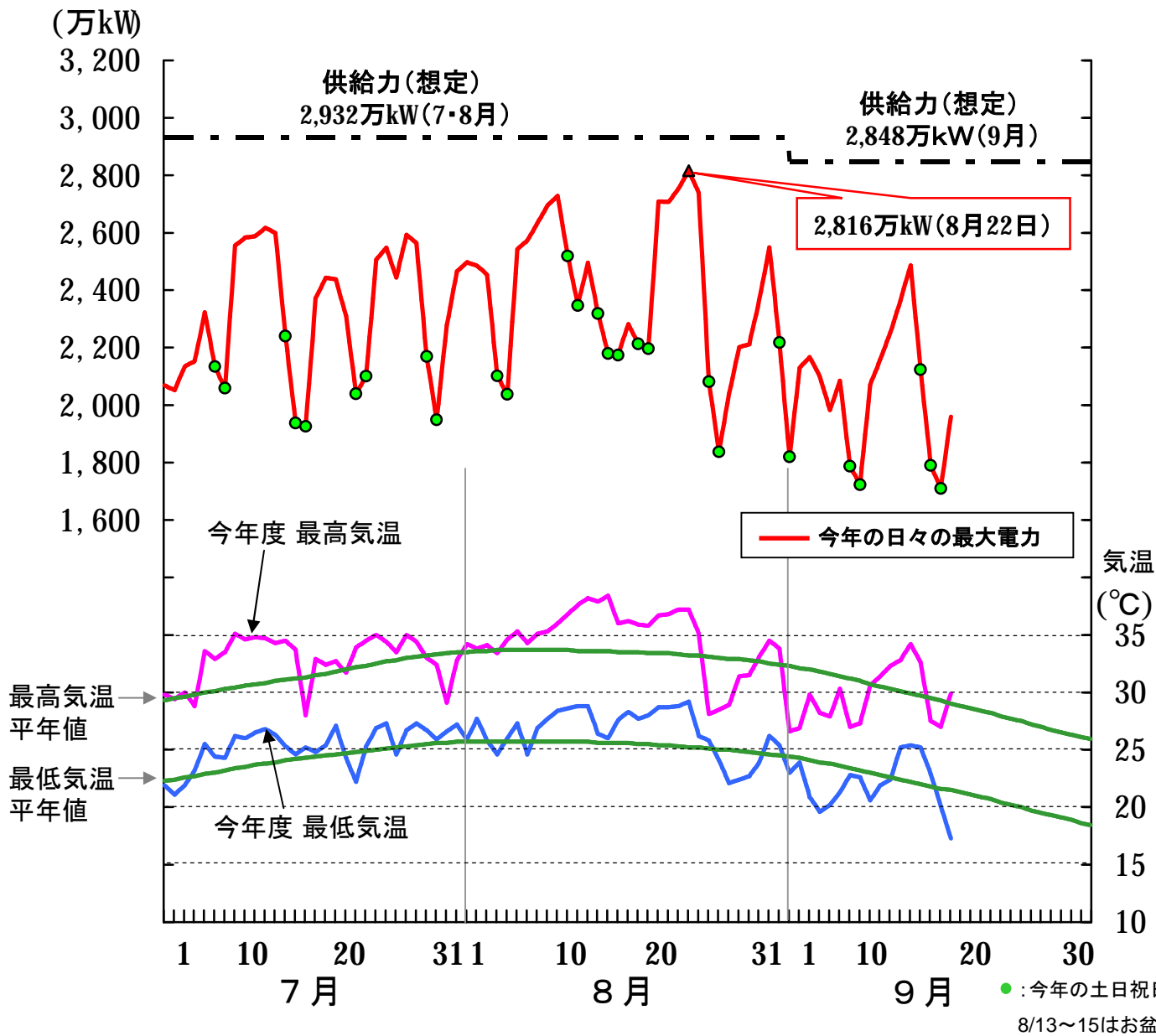
《参考》

今夏の節電要請内容 : 昨年並の節電の着実な実施（平成22年夏と比べて9%削減を目安）  
今夏のこれまでの節電実績 : 平成22年度比 約10%（約260万kW）  
昨夏の節電実績 : 平成22年度比 約11%（約300万kW）

- 今夏の電力需給及び節電の実績については、9月30日の節電要請期間終了後、関西電力に情報提供を求めながら検証する。
- 今冬の電力需給見通しの検証や節電要請の検討等については、今後、国や関西電力との連携を図り、専門家の意見も伺いながら、速やかに実施していく。

# 今夏の最大電力および気温の推移

関西広域連合委員会  
エネルギー検討会ご提出資料  
関西電力株式会社  
平成25年9月21日



◎気温※1 (大阪) (°C)

H25年7月		平年差
平均	28.5	+1.1
最高	32.9	+1.3
最低	25.3	+1.0

H25年8月		平年差
平均	30.0	+1.2
最高	34.8	+1.4
最低	26.6	+1.2

H25年9月上旬※2		平年差
平均	24.6	▲2.4
最高	28.6	▲3.0
最低	21.7	▲2.0

H25年9月中旬※2		平年差
平均	26.2	+0.9
最高	30.9	+1.2
最低	22.6	+0.6

◎猛暑日(最高気温35°C以上) (日)

7月	8月	9月上旬※2	9月中旬※2	計
3	18	0	0	21

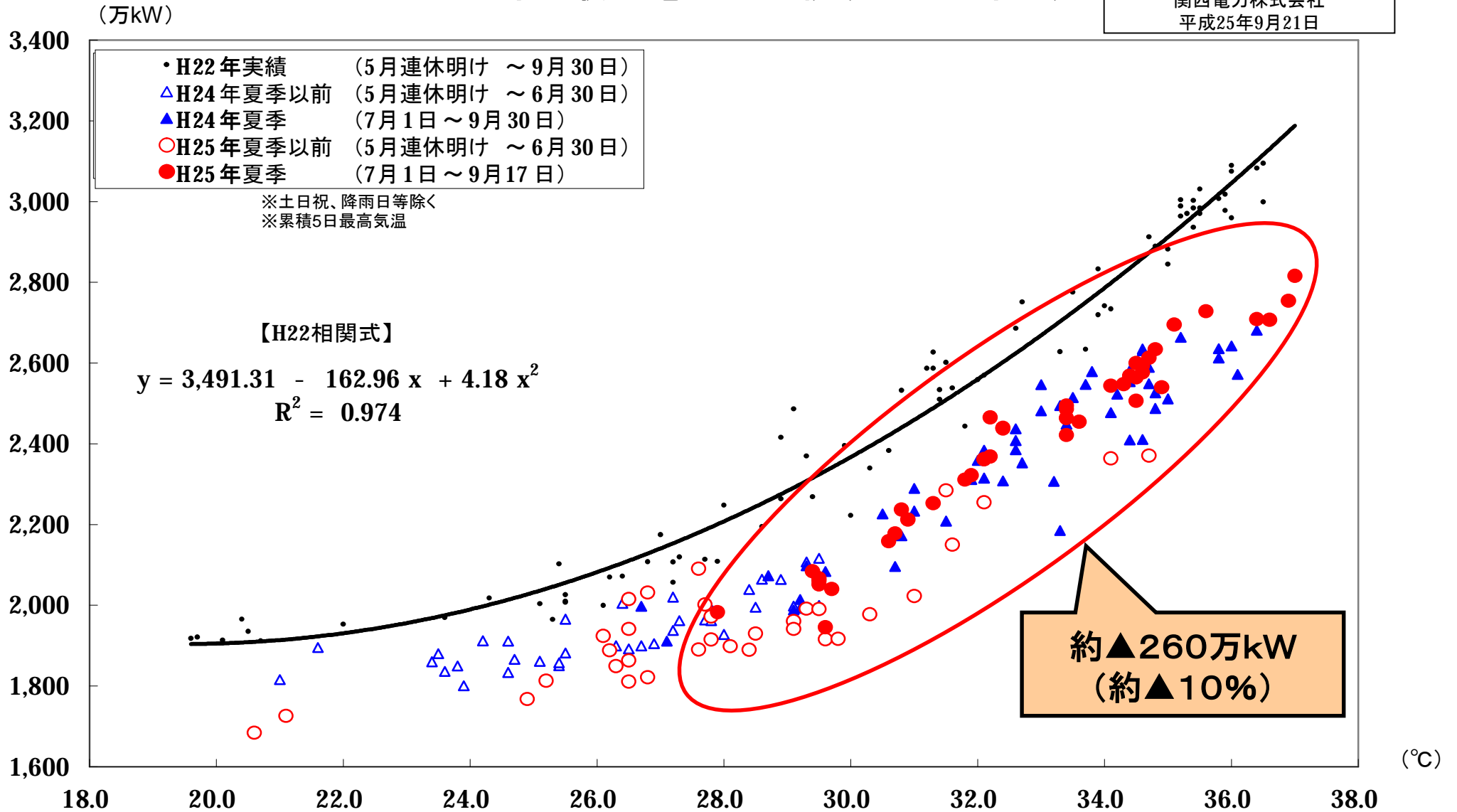
◎熱帯夜(最低気温25°C以上) (日)

7月	8月	9月上旬※2	9月中旬※2	計
20	24	0	3	47

※1: 気温は全て期間の平均値  
※2: 上旬: 9/1~10、中旬 9/11~17

○ 今夏のこれまでの最大電力発生日は8月22日(木)の2,816万kWです。

# 14～15時の最大電力の比較〔対H22年比〕



○ 7/1から9/17までの実績では、H22年と比べて、平均で約260万kW(約10%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

# 平成24年と今夏の節電の比較〔対H22年比〕

関西広域連合委員会  
エネルギー検討会ご提出資料  
関西電力株式会社  
平成25年9月21日

	H25年 夏(今夏) [9/17時点]	H24年 夏 [節電期間:7/2~9/7]
節電期間	ご無理のない範囲での節電 ＜参考：政府の節電要請内容および期間・時間＞ 7月1日～9月30日までの平日 (8月13日～8月15日を除く) 9時～20時	7月2日～9月7日 (8月13日～8月15日を除く)
時間帯		平日 9時～20時
要請 %		15%以上 (～7月9日) 10%以上 (7月10日～)

## 【実績関係(業種別)】

		減少量	減少率	減少量	減少率
節電効果(全体)		約260万kW	約 10 %	約300万kW	約 11 %
(内訳)	家庭用	約 55万kW	約 10 %	約 55万kW	約 9 %
	業務用	約 115万kW	約 10 %	約125万kW	約 11 %
	産業用	約 90万kW	約 9 %	約120万kW	約 12 %

○ 7/1から9/17までの実績では、H22年と比べて、家庭用:約55万kW(約10%)、業務用:約115万kW(約10%)、産業用:約90万kW(約9%)減少しています。